

松竹×京都市×NTT コラボレーション成果 吉例顔見世興行連携企画虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」を開催

NTT、松竹(株)では、NTTと松竹が進める新たな歌舞伎鑑賞の提案をめざした共同実験の一環として、2017年12月の「吉例顔見世興行」で襲名披露を行った八代目中村芝翫らが、最新ICTを用いてリアルとバーチャルが融合した世界初の歌舞伎を披露する虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」(みやこむすびゆめのれんじし)を2017年11月12日に先斗町歌舞練場(京都市中京区)にて行いました。

本イベントは、京都市が大学生をはじめとする若者が、「和の文化」に触れ、伝統産業に親しむ機会を提供することを目的として実施する「京都・和の文化体験の日」における「吉例顔見世興行連携イベント『はじめまして歌舞伎』」内の特別企画として行われ、若者の皆様に対

して、京都のまちで伝統芸能と最新ICTが融合した全く新しい「和の文化」に親しんでいただきました。

■虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」実施内容

虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」では、NTTが開発を進めてきた、あたかもその場にいるような臨場感をあらゆる場所で感じることができる世界をめざすイメージテレプレゼンス技術「Kirari!」における任意背景リアルタイム被写体抽出技術および超高臨場感メディア同期技術を用いて、異なる場所で演じる歌舞伎俳優の舞踊をリアルタイムに伝送し、まるで眼の前で演じているかのように一体となった舞踊を行う、世界初の歌舞伎舞踊を実現しました。

南座ルネッサンスへの胎動

—獅子たちは時空を超え、ポスト平成へ飛翔する—

パートナ
紹介

小林 雄次郎

松竹株式会社 南座

2017年11月12日に開催された虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」は、先斗町歌舞練場で踊る親獅子(中村芝翫)と宮川町歌舞練場で踊る3名の仔獅子(中村橋之助、中村福之助、中村歌之助)を掛け合わせて新たな舞台空間を創造する世界初の試みで、NTTの開発した最新ICTがこれを可能としました。

先斗町でのリアルな親獅子の振りと宮川町でのヴァーチャルな仔獅子の映像が自然な絡みを現出し、4名の獅子たちが先斗町歌舞練場の舞台において生き生きと躍動したのです。伝統と革新が見事に融合した瞬間でした。「洛中洛外凶屏風」等に描出される京における踊りの伝統は少なくとも16世紀まで遡ります。戦乱の世から文化の揺籃期に向かう中で〈傾く(かぶく)〉あるいは〈傾きおどり〉のカルチャーが五条河原周辺で盛況を見せたのです。それから450年余り、当時の町衆が虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」を観たら脳味噌が興奮で沸騰したことでしょう。俳優たちが躍動する獅子にけけタイムスリップしていきます。本イベントはそうした時空を超えた想像力の感興を覚えたひとときでした。

平成時代のルネッサンスともいえる南座の復興は、弊社において全社的な関心事となっています。日夜耐震工事が現場で邁進されており、来たるべき再開場の産声を地元の市民の皆様が今かと待ち構えています。そうした折のNTTと共同で立ち上げた今回の伝送舞踊『京結夢現連獅子』は大変意義深いものでした。伝統と革新の町京都のランドマーク南座に今後とも期待ください。



(左から) 中村歌之助/ 中村橋之助/ 筆者/
中村芝翫/ 中村福之助



図1 京結夢現連獅子



図2 虚実共演伝送トーク

具体的には、先斗町歌舞練場から1.5キロ離れた宮川町歌舞練場（京都市東山区）で演ずる四代目中村橋之助、三代目中村福之助、四代目中村歌之助の映像を先斗町歌舞練場へリアルタイム伝送し、先斗町歌舞練場で演ずる八代目中村芝翫とバーチャルで連獅子（素踊り）の共演

を行いました（図1）。

また、先斗町歌舞練場、宮川町歌舞練場の2カ所をつないだ“虚実共演伝送トーク”も開催。京都市から、門川大作市長も先斗町の会場でトークに参加し、会場は大いに盛り上がりました（図2）。

歌舞伎と最新テクノロジーの融合により、若者へ和の文化の魅力を伝える！

パートナ
紹介

吉岡 久美子/ 崎山 尚

京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 計画推進担当課長/ 振興係長

伊藤 恵

株式会社アクティブKEI（事業企画、運営）文化プロデューサー

京都市では、日本文化の真髄・「和の文化」を次の世代にしっかり伝えていく取り組みとして、「京都・和の文化体験の日」事業を平成26年度から実施し、これまで邦楽、能楽等に焦点を当て、若者が「和の文化」に触れ、伝統産業に親しむ機会を提供しています。

本年度はNTT様、松竹様による、歌舞伎と最新ICTを融合した世界初の歌舞伎舞踊の企画と、本市の事業を連携させていただく機会をいただき、多大の御協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。定員を超える若者から参加申込みがあり、初めて歌舞伎を観るといふ多くの学生、若者に参加いただきました。会場・先斗町歌舞練場では、八代目中村芝翫丈らによる最新テクノロジーを駆使したリアルとバーチャルが融合した華麗な舞踊が披露され、豪華な舞台に感嘆する若者の姿が印象的でした。また、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「長浜子ども歌舞伎」を映像やトークを交えて紹介し、日本各地で傳承されている農村歌舞伎への理解も深めていただきました。そして、歌舞伎の化粧法「隈取」をICTにより体験できる「変身歌舞伎」コーナーも大人気でした。

参加者から「とても綺麗で楽しく大変満足」「また歌舞伎を見たい」等の御意見をいただき、本事業をきっかけに多くの若者が歌舞伎の魅力を感じるとともに、最新技術との融合で進化していく日本の伝統芸能の新たな可能性を感じられたのではないかと思います。この感動を忘れず、若者が自身の言葉で「和の文化」を語り、発信してもらえるよう、今後も「和の文化」の普及に取り組んでいきます。



（左から）崎山尚/吉岡久美子/伊藤恵



図3 インタラクティブ体験展示「変身歌舞伎」

1万人以上の方に体験いただいている、歌舞伎独特の化粧法である隈取と最新技術がコラボレーションしたインタラクティブ体験展示「変身歌舞伎」を先斗町歌舞練場にも設置しました(図3)。また新たに、隈取が重畳された顔が巨大な顔オブジェクトにリアルタイムにプロジェクションされる「デカオ」も展示し、あたたかも歌舞伎俳優になったかのような体験を多くの方に楽しんでいただきました。

◆問い合わせ先

NTT研究企画部門

プロデュース担当

TEL 03-6838-5382

URL <http://www.ntt.co.jp/news2017/1710/171023b.html>

■併催イベント「変身歌舞伎」

2016年5月のラスベガス歌舞伎で初お披露目し、延べ

ICTを使った新たな歌舞伎体験の創造をめざす！

研究者
紹介

柿沼 弘員

NTTサービスエボリューション研究所 ナチュラルコミュニケーションプロジェクト 研究員

並河 大地

NTTサービスエボリューション研究所 2020エポックメイキングプロジェクト 研究主任

虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」では、宮川町歌舞練場で演ずる四代目中村橋之助丈、三代目中村福之助丈、四代目中村歌之助丈の姿を、その場で撮影しているカメラの映像から抽出する任意背景リアルタイム被写体抽出技術を使用しました。本被写体抽出技術は、グリーンバックや特殊な撮影設備を用いないため、抽出した虚像が先斗町歌舞練場で演ずる八代目中村芝翫丈と共演を果たしながら、宮川町歌舞練場では3人のありのままの舞台をお客さまにお見せするという、通常のライブ中継では味わえない空間をつくり出すことができ、リアルとバーチャルの良さそれぞれを体験できるイベントになったと思います。一方、その舞台裏では、カメラや照明など撮影環境の調整の難易度は、歌舞練場という劇場の構造上の特徴もあり、これまでになく高いものがありました。協力パートナーの力添えもあり、本番までに被写体を抽出する精度を高めることができ、無事にこの虚実共演の舞台を実現することができました。今後は、今回の課題も踏まえて技術的な改善を図り、より高い臨場感によって生まれる新しい体験と価値を多くの皆様にご提供できるよう、研究開発を進めていきたいと思ひます。



(左から) 柿沼弘員 / 並河大地

虚実共演伝送舞踊「京結夢現連獅子」が上演された先斗町歌舞練場のロビーにて、隈取が体験者の顔へのAR重畳され、歌舞伎俳優になったような体験ができる「変身歌舞伎」および、隈取重畳された顔が巨大な顔オブジェクトにリアルタイムにプロジェクションされる「デカオ」を展示しました。中村橋之助丈をはじめとした多くのお客さまに楽しんでいただき、「面白い」「インスタ映えする」などのお褒めの声をいただくことができました。私たちは引き続きNTTの最新技術を利用し、歌舞伎を新たなカタチで楽しんでいただけるようなインタラクティブ展示に取り組んでいきたいと思ひます。